

歴史は変わる？ 教科書も変わる？ では、勉強法は・・・

前回の「校長室から」に続き、今回も教科書が変わる話しをします。

さて、突然ですが、問題です。下の①～④は誰のことでしょう？ ⑤の別名は何でしょう？

(全て打ち間違いではありません。一部の教科書で使われ始めた新しい表記です)

①厩戸皇子(うまやどのおうじ) ②マガリャンイス ③リンカン ④ローズヴェルト ⑤大仙陵古墳

いかがでしょうか。正解は以下のとおりです。

①聖徳太子 ②マゼラン ③リンカーン ④ ルーズベルト

⑤仁徳天皇陵(大阪にある日本最大の前方後円墳です)

※ ②③④は、よりネイティブの発音に近づけて表記をしようという傾向にあります。

今の教科書が全て上記の**青文字**の表記に変わったというわけではありませんが、最近の様々な研究から学説が変わり、教科書の表記は**青文字**の表記へと変わりつつあります。太宰府西中学校の社会科教科書を見ましたが、まだ「聖徳太子」は載っていました。しかしいずれは変わると思われま。さらに、最近の研究では、お札にまでなった聖徳太子の顔は、別人の顔かもしれない、と一部の研究者から言われています。私の頭の中には右図の見慣れた顔がインプットされているので、「今さら別人と言われても・・・」という気がしません。ちなみに以下の人物の肖像画も、別人かもしれないと言われています。



聖徳太子



源頼朝



足利尊氏



西郷隆盛

最近、私は「時代の変化とともに、教科書の表記や常識と思われていることが変わった」という内容の本を3冊購入し、比べ読みしています。読んでみると、驚きの連続ですが、楽しくなったり、興味深くなったりします。一番、感じることは、「学問は永久不変なものではない」ということです。研究が進むにつれ、解釈が変わります。それは驚きでもあるけれど、面白いことでもあると思います。人類が進化している1つの証です。そして、そのように解釈が変わるのであれば、当然、勉強法も変わらなければいけません。すでに、「校長室から」でも紹介したとおり、テストの出題傾向は変わっています。昔のような1問1答式、いわゆる丸暗記しておけばある程度の点数がとれる問題から、今は、文章を読み、自分で考えて表現する問題へと変わっています。ですから当然、授業でも用語を覚えるだけでなく、用語を使って説明することができるようになる力をつけるようにしています。自分で考えて書いたり、発表したりすることを重視しています。このように学習の仕方も進化しています。

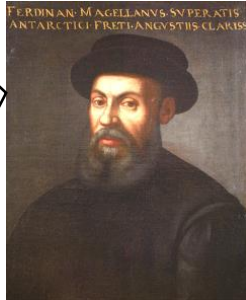
今回のテーマは「歴史は変わる？ 教科書も変わる？ では勉強法は・・・」としました。「歴史が変わる」の本当の意味は別にあります。今回は教科書の内容として習う『歴史』は解釈によって変わっていくという意味でテーマとしてつけました。上述のとおり、歴史や科学の解釈等が変われば、教科書も変わり、学校の授業も変わります。お子様と勉強の話をする時も、よければ「授

業で習ったことを話してみても」と声掛けをしてみたらいかがでしょうか。そこでお子様が「今日は、〇〇が□□になったことを習った。それは～」というように話をしてくれたら、表現力も高まりますし、とてもよい復習にもなります。

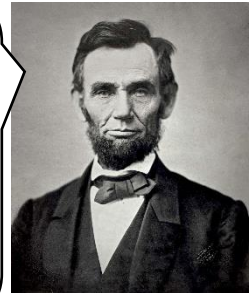
学校においては、『教科書を使って学ぶ』ということはこれからもしばらく変わらないと思います。しかし授業法や勉強法は変えつつ、学ぶ楽しみは継続していきたいと思います。

私もまだまだ新たに学び、時代の変化についていきたいと思いました。

私が**マガリャンイス**
です。世界一周をめ
ざし、航海に出ました
※Magalhães
ポルトガル語です



私はアメリカ合衆国
第16代大統領
リンカンです。
奴隷解放に尽力しま
した
※Lincoln



私はアメリカ合衆国
第32代大統領
ローズヴェルトです。
アメリカ経済の立て直しに
尽力しました
※Roosevelt
Vの発音に注意です